

平成19年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	地域を支える企業の仕事・技術を知り体験し、未来について学ぶ「将来の自分探し講座」		
法人名	学校法人 河原学園		
学校名 ((2) の み)	国際テクニカルビジネスカレッジ		
代表者	理事長 河原 武 史	担当者 連絡先	吉村 重彦 TEL 0897-34-9555
<p>1. 事業の概要</p> <p>主たる地域産業である工業分野について体系立てて学習する場が乏しいため、高校生の職業意識の高揚と地域産業の繁栄のための人材育成を目指して、地域産業の歴史を知り必要な知識・技術を体験することや情報発信する仕組みを体験することで、夢を抱き実現するための具体的イメージを作り上げることができる講座を実施した。</p> <p>5講座を開講しすべての講座において、地域企業および地域の協会、高等学校と連携し、地域産業の歴史を踏まえ高校生の視点で分かりやすく講座開発し教材製作を行った。なお、すべての講座で、地域産業の歴史と現状を知り、職業意識を啓発するために、企業からの講師による講演を実施した。</p> <p>高校生が、講座を体験し地域の産業・企業を理解したことや将来の夢を展開していく方法をアンケートで確認し、調査分析を行った。今後の高等学校での職業教育の参考としてもらう。また、専修学校の高等学校へのフォローアップに利用する。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>上記の事業を実施するために、地域の高校生を対象に5講座を開講した。</p> <p>「物造り」を主とした地域産業・企業の現状を直接体験する講座として、設計図作成・部品管理・機械制御を体験講座として開講した。</p> <p>近年のIT産業の発展により、すべての業界において積極的な情報発信が行われている。その現状と仕組みを知るために、Webページ作成・アニメーション作成を体験講座として開講した。</p> <p>また、それぞれが関連・連動していることを各講座において理解させ、地域産業・企業の歴史・現状を学習させた。</p> <p>体験授業・企業からの講師による講演や体験実習が高校生にとっては新鮮で、積極的に取り組んでいた。とくに、ペーパーウェイト作成・ラジオ製作・LED点灯・ホームページ作成・アニメーション作成などの実習は、実際の仕事に近く感じられるためか、非常に熱心に取り組み、十分な理解が出来たと考える。具体的イメージが学生にでき、職業意識の高揚のきっかけとなった。</p> <p>②事業により得られた成果</p>			

高校生の職業に対する経験がなく、イメージができていないために、実際とは大きく異なった職業理解となっている。今回の講座によって、正しい職業理解と今まで認識していなかった分野の職業理解が出来たと考える。特に、地域産業の繁栄のため、若年者の人材育成が必要な状況において大きく貢献できた。具体的な取り組みとしては、次の通りである。

(設計図作成体験講座)設計図は物造りの基本となるものである。実際に、設計図からペーパーウェイトを作成する体験を工場で行った。ステンレスの円柱台に、穴あけ・ねじ切りを行って取っ手をつけ、各自の名前を刻印した。

(部品管理体験講座)電子部品の管理を行うための、カラーコードについて体験講座を行った。電子部品の種類、存在理由が理解された。企業の方による「ラジオ製作を通して知る電子部品」講演を実施した。ゲルマニウム・ラジオの製作実習を体験して、様々な電子部品を理解した。

(機械制御体験講座)マイコンがどのようにして情報を持っているかを知るため、H8を使ってプログラミングを行った。企業の方による、「身の回りにあるもの再発見」講演を実施した。組み込みの技術が身近にあふれている状況やメーカの歴史について講演された。

(Webページ作成講座)自己紹介のホームページ作成を体験した。地域の情報発信を行っている企業の現状を見学して、講演を聴いた。

(アニメーション作成講座)FLASHを使った製作体験を行った。地元出身の漫画家からアニメーションの作成について講演を聴いた。

③今後の活用

高等学校・専修学校・企業の連携によって高校生の職業意識の高揚と地域産業の繁栄のための人材育成を目的として本事業を行った。受講者からのアンケート分析の結果では、講座を開講することによって、その目的を果たすことができると考える。高校教員からは、進路指導時に役立てたい、地域の産業を学生に理解させたいなどの意見が出た。また、Webページ作成・アニメーション作成については高校の授業に取り入れたなどの意見も出ている。今後は、高校ごとに調整を取りながら検討していくことで、地域産業・企業に優秀な人材を輩出するために貢献できるように活用したい。

④次年度以降における課題・展開

高等学校の行事・試験などの事前調査をしっかりと行い、開催時期を決定しなければならない。高等学校の先生からの要望により、進路指導時期や関連する授業内容に沿った時期に開催を考えたい。また、高等学校へ出張講座についても検討したい。

今回は、地域特有の産業についての講座を考えたいが、他の産業・企業においても展開していきたい。

3. 事業の実施に関する項目

①職業体験講座、講演会の実施

・設計図作成体験講座

実施日 平成20年1月26日(土)
場 所 国際テクニカルビジネスカレッジ(協賛企業内)
人 数 25名
アンケート結果 地域産業の内容を理解できたか? できた 20名(80%)
地域の魅力を感じたか? 感じた 18名(72%)
地域産業活性化のために働いてみたいか? 思う 18名(72%)
受講者の反応 日頃経験したことがない分野でした。もう一度やってみたい。
物を作ることは楽しいと感じました。
地域のために働きたいと思いました。
積極的に参加できることがあるんだなと思いました。
働いている人に魅力を感じました。
職場を見れたことが良かった。

・部品管理体験講座

実施日 平成20年2月2日(土)
場 所 愛媛電子ビジネス専門学校
人 数 20名
アンケート結果 理工系の分野について学びたいと思うか? 思う 13名(65%)
電子部品の仕組みを理解できたか? できた 15名(75%)
地域産業に興味を持つことができたか? できた 13名(65%)
受講者の反応 身近なものにもいろいろな電子部品を使っていることに驚きました。
身近なものの仕組みをもっと知りたくなりました。
自分でラジオを作れたことに感動しました。
半田ごての使い方が分かってよかった。
暗号を理解できて勉強になった。

・機械制御体験講座

実施日 平成20年2月9日(土)
場 所 愛媛電子ビジネス専門学校
人 数 18名
アンケート結果 理工系の分野について学びたいと思うか? 思う 14名(77%)
電子回路に関する分野を研究したい? したい 14名(77%)
マイコンに興味を持つことができたか? できた 13名(72%)
受講者の反応 マイコンの仕組みを理解できて組めたことがよかった。
身近なものにマイコンが利用されていることに驚いた。
いろいろな制御装置が必要なことがわかった。
コンピュータにはプログラムが必要だとわかった。
組み込みの意味が良く分かった。

・Webページ作成講座

実施日 平成20年2月16日(土)
場 所 国際テクニカルビジネスカレッジ
人 数 23名
アンケート結果 理工系の分野について学びたいと思うか? 思う 15名(65%)
Web作成に興味を持つことができた? できた 19名(82%)
映像配信に興味を持つことができたか? できた 19名(82%)
受講者の反応 ケーブルテレビ・映像配信が良く理解できた。
ホームページの作成ができてよかった。
ホームページ作成の研究をもっとしたい。
世界中に地域の情報が映像配信されることに感動した。
企業見学ができて映像配信の仕組みが分かった。

・アニメーション作成講座

実施日	平成20年2月23日(土)		
場 所	国際デザイン・アート専門学校		
人 数	18名		
アンケート結果	アニメーションの理解を深めることができた？	できた	12名(66%)
	アニメーション作成に興味を持つことができたか？	できた	13名(72%)
受講者の反応	Flashでのアニメーション作成に興味を持ってました。 漫画家の講演を聞いて感動しました。 動画を作成することはあまり難しくないと感じました。		

②その他

今回の講座は、高校生に地元産業・企業に興味を持ってもらうことを目的とした。そのため、各講座のテーマは簡単で興味を引くものを選択した。アンケート結果も理解できている・興味を持った割合が多いので、成功と考える。